

汽水域研究会 2017 年（第 9 回）大会プログラム

日時：2017 年 10 月 7 日（土）・8 日（日）

場所（10 月 8 日のみ）：高知大学朝倉キャンパス（高知市曙町 2-5-1）

シンポジウム・総会会場：共通教育 1 号館 153 教室

企業展示・ポスター会場：共通教育 1 号館 152 教室

参加費：会員 1,500 円（施設入館料、講演要旨集代含む）

2017 年 10 月 7 日（土）

10:00～18:30 バスチャーターによる巡検（乗車地は 3 ヶ所）

行程：各地～蟹ヶ池～四万十川学遊館～JR 高知駅（予定）

※ 受付は、乗車前及び車内で参加受付します。

※ 出発時間厳守となります。ご注意ください。

※ 昼食休憩はありませんので、乗車前にお弁当等の購入をお願いします。

（10:00 出発 乗車地① 高知竜馬空港）

（10:45 出発 乗車地② JR 高知駅北口）

11:30～12:15 土佐市蟹ヶ池にて地形観察と津波堆積物解説

現地解説：岡村 眞・松岡裕美氏（高知大学）

（13:30～13:45 トイレ休憩 道の駅 なぶら土佐佐賀）

（14:15 出発 乗車地③ 土佐くろしお鉄道中村駅）

14:30～16:30 四万十川学遊館 視察・講話

14:30～15:30 とんぼ館・さかな館内および保護区の見学

15:30～16:30 杉村光俊氏による講話「暮らしとつながるトンボの話」

※ 杉村光俊氏は、1985 年世界初のトンボ保護区「四万十市トンボ自然公園」設立を呼び掛け、トンボを中心とした環境整備および環境学習の専門家として活躍中。公益社団法人トンボと自然を考える会常務理事

18:30 JR 高知駅到着

19:00～21:00 懇親会

会場：和座 Dyning 東風

（高知市帯屋町 1-3-12 KENT ビル 2・3F 088-872-9677）

※ 一般 4500 円、学生 2000 円（当日会場徴収）

2017 年 10 月 8 日（日）

8:30～9:00 受付（参加未受付の方のみ）

9:00～10:00 総会

10:00～12:30 シンポジウム「汽水域を百学連環で考える」

S1 10:00～10:05 趣旨説明

山田和芳（ふじのくに地球環境史ミュージアム）

S2 10:05～10:50 汽水域と災害学 ～南海地震研究の成果から～

岡村 眞（高知大学防災推進センター）・松岡裕美（高知大学理工学部）

S3 10:50～11:35 高知県の汽水域における動物相の面白さ

町田吉彦（高知市）

S4 11:35～12:20 汽水域と応用生態工学

～河川汽水域の「場」と「生物」の多様性～

乾 隆帝（山口大学大学院創成科学研究科）

12:20～12:30 総合討論

12:30～13:30 一般ポスター発表（コアタイム：12:30～13:30）

P01 色度理論に基づく底質分類と水質推定の可能性

作野裕司（広島大学大学院工学研究科）

P02 地球温暖化が亜寒帯域のマガキ養殖に及ぼす影響の評価

ー三次元低次生態系モデルによる解析ー

阿部博哉（国立環境研究所）・仲岡雅裕（北海道大学厚岸臨海実験所）

P03 耳石の酸素安定同位体比を用いた汽水域における魚類の生息環境推定手法の検討

山口啓子（島根大学生物資源学部）・細田真生・福島康文・伊藤晃介（島根大学大学院生物資源科学研究科）・田久和剛史（島根県立宍道湖自然館）・坂井三郎（海洋研究開発機構）

P04 島根県大橋川で観測された塩水遡上パターンの解析

倉田健悟（島根大学エスチュアリー研究センター）・平塚純一（（株）地域システム研究所）・川上 豪（認定 NPO 法人自然再生センター）・桑原正樹（宍道湖漁業協同組合）

P05 北海道藻琴湖における大きな降水による洪水性ラミナの形成過程

瀬戸浩二・香月興太（島根大学エスチュアリー研究センター）・園田 武（東京農業大学生物産業学部）

P06 感潮河川における珪藻群集の分布状況 ー韓国コムソ湾・ジュジン川ー

香月興太（島根大学エスチュアリー研究センター）・Jaesoo Lim・

Jin-Young Lee (韓国地質資源研究院・地質環境災害研究センター)

- P07 斐伊川水系河口域におけるヤマトシジミによる堆積作用に関する野外実験 (予報)
大西一輝 (島根大学総合理工学部)・瀬戸浩二 (島根大学エスチュアリー研究センター)
- P08 静岡県浜名湖 (引佐細江) における後期完新世の堆積環境の変遷 (予報)
藤井悠史 (島根大学総合理工学部)・瀬戸浩二・香月興太 (島根大学エスチュアリー研究センター)・山田和芳 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
- P09 汽水域における人為的閉鎖性水路の水質および堆積環境 (予報)
堀川千里 (島根大学総合理工学部)・Ngo Huu Toan・Tran Thi Thuy Hang・Ho Thi Tung・Nguyen Duc Thanh・Truong Van Dan・Vo Duc Nghia (ベトナム・フエ農林大学)・香月興太・倉田健悟・瀬戸浩二 (島根大学エスチュアリー研究センター)
- P10 網走湖産ヤマトシジミの個体群動態と産卵生態 (予報)
野村智哉・園田 武 (東京農業大学生物産業学部)
- P11 ワカサギの回遊行動は何で決まっているか：濤沸湖産ワカサギの生態
緒方道太郎・鈴木響子・須貝颯太・園田 武 (東京農業大学生物産業学部)
- P12 隣接する汽水湖間の魚類群集構造と食物網の比較
高橋利貴・大石敬透・川村直定・鈴木響子・須貝颯太・緒方道太郎・園田 武 (東京農業大学生物産業学部)
- P13 藻琴湖および濤沸湖におけるサイズ別クロロフィル *a* 濃度の季節分布
中川至純・原 匡史・酒井 健・園田 武・西野康人・瀬川 進 (東京農業大学生物産業学部)
- P14 能取湖における植物プランクトンに対する微小動物プランクトンの摂食圧
中川至純・折原啓太・北村充彰・西野康人・瀬川 進 (東京農業大学生物産業学部)
- P15 網走湖のヤマトシジミによる水質浄化に関する研究
齊藤晃大・石川健太・瀧川優也 (北海道網走南ヶ丘高等学校)
- P16 網走市周辺に生息するニホンザリガニの地理的変異に関する研究
石川健太・齊藤晃大・瀧川優也 (北海道網走南ヶ丘高等学校)

13:30 閉会挨拶

※ 発表者、講演タイトルは変更・追加される場合があります。

会場案内

● 高知大学朝倉キャンパス

〒780-8520 高知市曙町 2-5-1

バスで「朝倉高知大学前」下車すぐ。路面電車で「朝倉（高知大学前）」下車すぐ。JR「朝倉駅」下車徒歩3分

★自家用車でお越しの場合は、大学構内駐車場をご利用ください。

★当日は、TOEIC 試験会場にもなっています。ご注意ください。



汽水域研究会 2017 年（第 9 回）大会

主催：汽水域研究会

協力：高知大学理工学部／公益社団法人トンボと自然を考える会

協賛：公益財団法人ホシザキグリーン財団、公益財団法人島根県環境保健公社、
環境システム株式会社、JFE アドバンテック株式会社、松江土建株式会社

大会実行委員：山田和芳（ふじのくに地球環境史ミュージアム）・倉田健悟（島根大学）・作野裕司（広島大学）